

テーマ	<p><b>「たねのくふう」</b> (1年生10月以降のプログラムとなります。)</p>			
ねらい	<p>植物が仲間を増やすために、種にはいろいろな工夫があることに気づくことができるようにする。</p>			
育てたい力	<p>種には植物が仲間を増やすための作戦があることから、自然の巧みさに気付くことができる。また、種は遠くに運ばれるために、形が風に乗やすかったり繊維に絡みやすかったりするなどの機能性を持っていることに気付くことができる。</p>			
過程	<p><b>主 な 学 習 活 動</b></p>			
つかむ	<p>箱の中に種がたくさん入っている。この中に知っている種はあるだろうか。</p>			
10分	<p>トウモロコシ・ラッカセイ・イネ・オオムギ・ヒマワリ・イチョウなどの種</p> <p>人が育てていない草や木は、どうやって種をまいているのだろうか。</p> <p>落ちて転がっていく・風で飛ぶ・水が運ぶ</p> <p>草や木の種は、仲間を増やすために、遠くへと広がる工夫をしている。それぞれの種がしている作戦を調べていこう。</p>			
調べる	<p><b>①ふわふわわたげ作戦</b></p>	<p><b>②くるくるまわるはね作戦</b></p>	<p><b>③つばさでとぼう作戦</b></p>	<p><b>④くっつき作戦</b></p>
30分	<p>①「ふわふわ綿毛で遠くまで飛ぶことができるのだろうか。」タンポポなどの種を観察したり、種の模型が風に乗る様子を観察したりして遊ぶ。</p>	<p>②「くるくる回る羽根で、遠くまで行けるのだろうか。」ツクバネやカエデ、ニワウルシなどの種を観察したり、種の模型が風に乗る様子を観察したりして遊ぶ。</p>	<p>③「翼をもつと、風がなくても遠くへ飛べるのだろうか。」オオウバユリやアルソミトラの種が飛ぶ様子を観察したり、種の模型を飛ばしたりして遊ぶ。</p>	<p>④「動物の体にどうやってくっついて遠くまで行くのだろうか。」オオオナモミやイノコヅチなどの種や、それらの種の運ばれ方を観察する。オオオナモミの種をつけて遊ぶ。</p>
広げる	<p>観察・実験の結果から、気付いたこと・分かったことを話そう。</p>			
10分	<p>綿毛がふわふわと飛んだ。舞い上がって風に乗ると、遠くまで飛べる。</p>	<p>種は翼がグライダーみたいになって遠くまで飛んだ。</p>	<p>上から種が落ちるときにくるくと回ると、風に乗って遠くまで行ける。</p>	<p>種のとげで動物の毛にくっついて、遠くまで運ばれて行くな。</p>
ふり返る	<p>種は運ばれた所で仲間を増やしていく。</p> <p>種は遠くまで運ばれる作戦を立てている。</p>			
10分	<p>種が仲間を増やすために遠くに行く作戦は、いろいろあるんだ。</p> <p>お気に入りの種を入れて、種ストラップを作ろう。</p> <p>今日の学習をふり返って、シートに書こう。</p>			
留意点	<p>○エンゼルランド屋外には落葉樹やドングリの木など多数あるので観察や採集もできます。</p> <p>○食べる種や育てる種の体験を元に、いろいろな種の観察をしながら学習を進めます。</p> <p>○「種ストラップ作り」を省いた(50分)短縮プログラムもできます。</p>			